

事務事業名	出産・子育て応援給付金給付事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康推進課
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	総務G	課長名 土屋 悦子
	施策名	〈25〉子育て支援の充実		担当者名	永瀬 玉緒	電話番号:0854-40-1045 (内線) 2146
	目的 対象	A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳)	意図 図	A)安心して子育てができる。B)心身ともに健やかに育つ。		
	基本事業名	〈071〉子どもの心と体の健やかな発達支援		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0:1 2:0 0:2 出産・子育て応援交付金 項目 中事業 中事業名 0:5 2:5 0:1 出産・子育て応援交付金	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
出産応援給付金:妊娠届を提出した妊婦、子育て応援給付金:出生届後の子どもの養育者	出産・子育てに係る費用の負担軽減を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみのみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(R4 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)	これまでの妊娠期から出産・子育てまでの切れ目のない支援とあわせて、妊婦や子育て家庭に寄り添い、面談等を通じて必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、子育てに係る費用の負担軽減を図るため、出産・子育て応援給付金(計10万円)を支給し、経済的支援を行う。(令和4年10月28日閣議決定「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」)。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・出産応援(遡及支給)210人 ・子育て応援(遡及支給)124人 ・出産応援(事業開始日以降)31人 ・子育て応援(事業開始日以降)12人	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 国において創設された出産・子育て応援交付金に基づき、令和5年1月から開始した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 出生数	人			154	180
イ 妊娠届数	人			157	180
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
需用費243千円、役務費49千円、負担金補助及び交付金18,850千円	国庫支出金	千円			12,760	15,531
	県支出金	千円			3,189	3,132
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円			3,193	3,134
	事業費計	千円	0	0	19,142	21,797

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	給付金該当者は全て給付希望されており、経済的支援に繋がっている(遡及対象者の給付率は100%)。必要な方には、経済的支援の活用と組み合わせながら、妊婦や子育て家庭が必要な支援サービスの相談・調整を行った。また、アンケートから個別の面談希望者や子育てへの不安がある方等へ伴走型相談支援に応じ、子育て不安の軽減に繋がった。
② 事業実施するうえでの課題	全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図る必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	アンケート結果の分析や、伴走型支援を通じた保護者の声を子育て支援策に繋げる。